

広島県公立学校校長会連合会設立趣意書

21世紀の扉は開かれました。新しい世紀は、世界規模で社会の構成と様相が大きく変化し、社会経済や科学技術が急速に発展する激動の時代になることが予想されます。

こうした中、学校教育は、各方面から従来の教育システムの変革を厳しく問われているところです。と同時に、次代を担う子どもたちに「生きる力」を育成することが重要として、個性を伸ばし、どんなに時代が変化しても変化することのない価値（不易）を確実に身に付けさせるとともに、時代の変化とともに変わっていくもの（流行）に柔軟に対応できる力を育成することが求められています。

こうした課題に対し、その職務にあたる私たちの責任は大なるものがあります。

国においては、現在の教育システムを改善するべく、今年を「教育新生元年」と位置付け、「21世紀教育新生プラン」が策定され、教育改革を果敢に実行していくことが打ち出されました。

本県においても、21世紀の「元気な広島県」を実現するため、昨年秋に県政中期ビジョン「ひろしま夢未来宣言」が策定されました。この最重要施策として教育改革があげられています。これを基に各学校が創意工夫し、生き生きとした教育活動を展開していく中で、新たな「教育県ひろしま」の創造に向けた教育改革を確かなものとしていかなければなりません。

そのためには、小学校、中学校、高等学校、盲学校、ろう学校及び養護学級が相互の連携を深め、県民や保護者の願いに応える教育の充実に取り組むことが責務であると自覚するものであります。

こうした状況の中で、私たちは、今世紀初頭、ここに広島県連合小学校長会・広島県公立中学校長会・広島県公立高等学校長協会を構成する広島県公立学校校長会連合会を設立し、広島県教育の発展を期し、県民の期待に応えていきたいと考えます。

平成13年 5月 9日

| | |
|----------------|-------|
| 広島県連合小学校長会長 | 松村 静海 |
| 広島県公立中学校長会長 | 村上 廣 |
| 広島県公立高等学校長協会会長 | 瀬崎 宣利 |